幼保連携型認定こども園 津田このみ学園 今在家分園



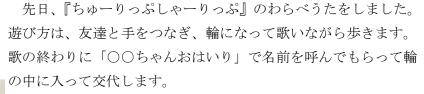
## うさぎぐみだより 4月

吹き抜ける風が心地よく、戸外での活動が気持ちいい季節になりました。子どもたちは、園庭の築山を元 気に走り回って保育者と追いかけっこを楽しんでいます。











子どもたちは名前を呼ばれると「やった~、〇〇や」とうれしそうにジャンプしながら入ったり、はずかしそうに照れながら中に入ったりしていました。中に入っている子は、みんなの顔が見えるのがうれしい様子です。歌の終わりが近づくと次は自分かな!?と、わくわくしながら保育者の顔を見て、歌っている声に耳をすませていました。



わらべうたをきっかけに、友達とのふれあいが楽しいと気付いてもらえるように、子どもたちと一緒に遊んでいこうと思っています

## あれ?おかしいな?~こまった時にはこうしよう!~

4月になり、どんな友達と遊ぶのかな?楽しい歌をきかせてくれるかな? などドキドキして新年度を迎えられたのではないでしょうか?そろそろ園の 生活にも慣れ始めたころですが「あれ?こんなはずではなかった?」と首を かしげてしまうような困ったこともでてきたのではないでしょうか?



## みんな、元気にいたいですね

仕事が終わり、やっと大好きな子どもに会える~と思い、迎えに来てはみたが…園で緊張の中頑張っている子どもたちは保護者の方の顔を見るなり、甘えたりぐずったり、困らせているのではないでしょうか?仕事に家事に育児に、いろんなことをしないといけない保護者の方は毎日帰宅後てんてこ舞いになっているのではないかと思います。

週末に夕食の下準備をしておく、レトルトや総菜をうまく利用するなど、夕方時間をうまくやりくりしたり、子どもと一緒に就寝したり、保護者の方がご自身をいたわることが子どもへのおだやかな関わりにつながりますよ。

## どうしてけんかするのだろう?

2歳児は友だち関係を広げる一方で、 自己主張のぶつかり合いが多くなり、噛みつき・ひっかき等のトラブルも多い時期です。しかしそれは「自我の芽生え」や「他人との関わり」が大きく成長している証でもあります。

友達とのトラブルが多い今の時期に大切なことは、**子どもが自分の思いを受け止めてもらうこと**です。その過程で、自分自身を肯定し、相手への思いやりが育ちます。私たち大人は、受け止め役・仲立ち役を担うことが重要です。